

●特集●新教育課程と各教科のイメージ●

生活科

地域に開かれた学校づくりを

馬居 政幸

1 ●生活科にとって重要なもの

「先生、子どもってすごいですね。ダンゴムシの脚が何本あって、どうやって歩くか。何を食べるか。おたまじゃくしとナマズはどこが違うか…。へえー、そうなの、すごいね、すごいねって言いながら聞いていると、どんどん新しい発見を教えてください。」

これは、私の研究室の学生、Mさんの生活科授業参加後の感想。浜松市立五島小学校（兼子節雄校長）でのことである。参加したのは研究会にありがちな周到に準備された特別な授業ではない。それどころか、担任は卒業後2年目の若い先生。私たちがいたこともあってか、とまどいながらの実践であった。

私は、同行した学生に、子どもたちといっしょに活動することを指示した。生活科にとって重要なのは、子どもたちの学びと育ちの豊かさであって、授業技術ではないと考えるからである。そして、その結果がMさんの感想。誤解を恐れずに言えば、新卒2年目の先生でも、子どもたちは元気に育っている。なぜか。その秘密は、五島小の子どもたちと生きる世界を共有する多様な人のネットワーク、「人のかかわり」の豊かさである。

2 ●学校だよりで結ぶ人のかかわり

「子どもたちの学ぶ場は学校だけではありません。地域には素晴らしい先生がいます。先日、学習発表会の折、保護者の作品展を催しました。地域の皆さんが作品を出品してくれました。まだまだ他にもたくさんいらっしゃる

と思います。ゲートボールのおじいさん、魚とりの名人、昔の遊びの達人、みんな子どもたちの先生です。地域が先生なのです。そんな先生に学校に来てもらったり、お宅へ出かけたりして、自由に学べる場を作っていけたらと思います。」

これは、五島小の鈴木儀一教頭が、学区の人たちにあて、月に数回、学校の様子を知らせるために発行する学校だより「ごとう」の記事である。鈴木先生は、「ごとう」について、「担任が保護者に出すのが学級だよりです。地域の人たちに学校だよりを教頭が出すのもいいかなと思ひまして。それに、校長が社会教育行政で活躍された方のためか、学校を地域の人たちに開くことに非常に積極的なんです。わたしも生活科の活動づくりを通じて、地域の人たちが子どもたちの先生ということを感じました。そのときに、地域の人たちに助けてもらうためには、まず学校と子どもたちの様子を知ってもらうことが第一だと考えたのです」と語ってくれた。

「ごとう」は、2つのルートで配付される。1つは、学区内にある自治会、老人クラブなど各種団体の長と、公民館や駐在所などの公共施設を通じて配られるルート。もう1つは、五島小PTAによる学区内の各地区の地区委員を通じてのルートである。

この2つのルートを構成する人と人のつながりが、子どもたちの学びを支え授ける人と情報のネットワークとなり、Mさんが感嘆した子どもたちの豊かな学びの基盤を構成している。さらにそれは、「総合的な学習」を含

めた新たな教育課程の実践化の確かな基盤ともなる。そのことを示唆するのが、次の「ごとう」の記事から選んだ見出しの一覧と内容の要約。学校から地域へと広がる学びと活動の場において豊かに育つ子どもたちの姿が、地域の人たちに定期的に紹介される。

- ①「どろだらけの田植え」（生活科の活動紹介／先生は保護者）
- ②「五島地域に花を!! 「はまゆう」の皆さんといっしょに」（3年生社会科の公民館見学で出会った花づくりグループとの交流／先生はグループの人）
- ③「西島寮と江之島寮のおじいさんとおばあさん」（3年生が社会科で学区内の高齢者の施設を訪問した様子の報告／先生は施設の人たち）
- ④「浜松養護学校との交流」（学区内の養護学校との交流授業の報告）
- ⑤「これからの教育をみんなで考えよう」（中教審答申、教課審答申、静岡県新世紀教育計画などのエッセンス）

五島小の子どもたちの活動が学区全体に広がり、地域の様々な先生に支えられていることが理解できよう。もちろん、学校の中の授業でも、様々な教科と学年で地域の人が先生になっている。そして、このような開かれた学校づくりの象徴が自由参観日。その様子を「授業参観から学校参観へ」と題した「ごとう」の記事から紹介したい。

3 ●まず、学校を開くことから

「学校というところは、保護者の皆様にとってなかなか入りにくい所というイメージが強いのではないかと思います。ましてや地域の人々にとってはよほどの用事でもないかぎり、校舎内に入る機会もありません。……また月1回程度、1時間の授業を参観しただけで子どもの姿、学校の考え方を理解してほしいと願っても全く無理な話です。……そこで、本年は、せめて1、2回、保護者や地域の皆

さんが1日じつくりと学校の中を参観して、子どもたちの生活の様子、学校の施設や設備の具合等を知っていただけるよう、学校参観（1日参観）を設けました。学校では、要望があれば、保護者や地域の皆さんにミーティングルームやパソコン室も開放する予定でいます。気軽に学校へお出かけください。学校は、保護者、地域の皆さん方とともに創りあげていくものであり、一体化した時こそすばらしい学校となります。」

先に紹介したような地域での活動を実践する学校は少なくないはずだ。だが、1つひとつを感謝の言葉とともに広く地域の人たちに伝え、その価値を理解してもらうことに努力する学校がどれほどあるか。なぜこのようなことが必要か。地域は働き生活する人が中心で、そのままで子どもたちを育てる場にはなりにくい。加えて、社会移動と職住分離が進行した現代社会では、地域は帰る家がある場としか考えない人が多い。また、学校の教育方針を理解してくれるとは限らない。地域は学校を取り巻く環境であっても、子どもたちを意図的に育む学習環境ではない。

だが、未来が要求する「生きる力」の育成は、学校の中のみでは困難。学校の外で生きて働く力は家庭や地域で生活する人の世界でしか学び取れない。その意味で子どもにとって地域の全ての人が教師になる。「生きる力」を培うためには、学校の外で現実生きて働く人たちの力と知恵を、子どもたちの学びと育ちを支え授けることに向けてもらわなければならない。そのためにはまず、学校が自らを開くことから始めるしかないことを五島小の地域での活動や自由参観日の実施が教えてくれる。地域の教育力は既にあるものではなく創るものである。そしてその力に支えられた、Mさんの感動と称賛の言葉（評価）が、子どもたちの「知的な気づき」の源泉であることも強調しておきたい。

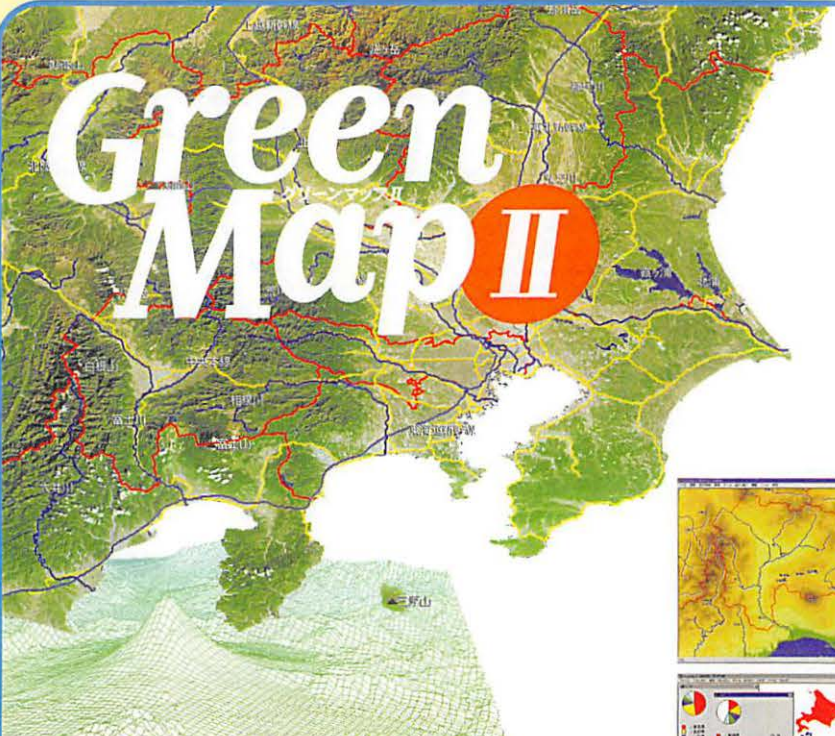
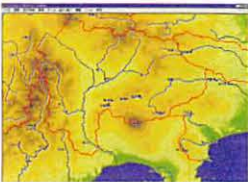
（静岡大学教授 うまいまさゆき）

Green Map II

for Windows95/98/NT
本体価格15,000円(税別)

- 最新の地図データ・統計データを搭載。
- 鳥瞰図は、360度どこからでも、また見る高さも自由に設定し、表示可能。
- 統計データは資料としてだけでなく、自分でデータのカスタマイズが可能。
- グラフィック機能で地図上での作業が可能。また、音声・写真・動画の添付が可能。

衛星画像解析/東海大学情報技術センター



東京書籍

本社	〒114-8524	東京都北区豊島2-17-1	東京書籍ビル	Tel.011-562-5721	Fax.011-562-5492
北海道支社	〒064-0806	札幌市中央区南6条西14-1-5	札幌東書ビル	Tel.011-227-2666	Fax.011-227-2640
東北支社	〒983-0852	仙台市宮城野区植田3-7-22	仙台東書ビル	Tel.022-297-7467	Fax.022-297-6040
関東支社	〒114-8524	東京都北区豊島2-17-1	東京書籍ビル	Tel.03-5390-7467	Fax.03-5390-6017
関東支社	〒114-8524	東京都北区豊島2-17-1	東京書籍ビル	Tel.03-5390-7467	Fax.03-5390-6017
北陸支社	〒920-0918	金沢市南町1-8	朝日生命ビル	Tel.076-222-7581	Fax.076-232-2719
中部支社	〒460-0003	名古屋市中区錦1-3-4	三栄ビル	Tel.052-211-2323	Fax.052-203-1320
関西支社	〒532-0004	大阪市淀川区西宮1-4-10	大阪東書ビル	Tel.06-397-1350	Fax.06-397-1358
四国支社	〒760-0017	高松市番町1-6-1	住友生命ビル	Tel.087-822-5011	Fax.087-821-9181
中国支社	〒730-0032	広島市中区立町1-20	長緑ビル	Tel.082-247-4251	Fax.082-247-4254
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区東区1-17-28	トッパンビル	Tel.092-771-1536	Fax.092-714-3519
道東出張所	〒065-0054	網走市東町1-2	セブンビル	Tel.0154-25-1318	Fax.0154-25-0663
道南出張所	〒041-0813	函館市南町1-13-10	トッパンビル	Tel.0138-43-1764	Fax.0138-43-1798
静岡出張所	〒420-0858	静岡市佐馬町16-3	明治生命静岡佐馬町ビル	Tel.054-272-0314	Fax.054-273-2485
鹿児島出張所	〒890-0055	鹿児島市上荒田町44-23	第二丸書ビル	Tel.099-254-0355	Fax.099-254-0406
沖縄出張所	〒901-0152	那覇市小比1-3-1	徳元ビル	Tel.098-857-7466	Fax.098-857-9803

インターネットホームページ <http://www.tokyo-shoseki.co.jp>

定価 本体200円
(税別)

[東書教育情報]

ニューサポート New Support

1998年9月発行/No.10
この用紙は再生紙を使用しています。

小学校

Index 目次

巻頭言

俳優たちと私 蜷川幸雄

私の受けた授業

思い出は愛の贈りもの

星乃ミナ

プロの授業

平野啓子

21世紀の学校に期待するもの

人類の進化と教育

佐倉 統

特集 新教育課程と各教科のイメージ

国語	子どもが自ら創る授業の実現 /二瓶弘行	8
書写	“主人公は学習者”の授業を目指して /齋木久美	11
社会	複線的課題設定による農業学習 /山口俊雄	13
算数	自己探究力の育成を /長谷 豊	16
理科	自ら資質・能力を高める問題解決活動 /池田 博	18
生活	地域に開かれた学校づくりを /馬居政幸	20
音楽	子どもが見通せるアンサンブル /村井芳雄	22
図工	個性を大切にしたい題材の開発 /上田良一	24
家庭	手はたからもの /貝ノ瀬ひろ子	26
保健	自らの健康を目指して /永井雅人	28

●平成10年度教育研究大会のご案内……30
●教科書修正・訂正のお知らせ……32

「何に見えるかな?〜どうぶつに見えたよ」
北海道赤平市立赤平小学校1年 越智彩乃
指導者 上杉真智子



ご回覧
ください

校長 先生	教頭 先生	1年	2年	3年
		4年	5年	6年